

＜報道発表資料＞

教育部 文化財保護課

担当 課長 高山

直通 048-997-6666

E-mail:bunkazai@city.yashio.lg.jp



第51回企画展「あの世―葬送儀礼と死生観―」

8月10日（土）から9月29日（日）まで、八潮市立資料館（八潮市南後谷763番地50）において、第51回企画展「あの世―葬送儀礼と死生観―」を開催します。

1 開催の目的

時代によって形を変えながら現代へ受け継がれてきた葬送儀礼や死生観を通して、人びとの死に対する向き合い方について紹介することを目的に本展覧会を開催します。

2 内容

本企画展では、あの世へ送り出すための葬送儀礼、人びとが思い描いてきた死後のイメージ、死者を弔う供養を取り上げ、その根底にある死生観に迫ります。

3 関連事業

(1) 担当職員による展示解説

第1回 8月18日（日）午後2時～3時

第2回 9月14日（土）午後2時～3時

(2) 企画展関連講座「近代皇室葬儀と八潮―国家の葬儀と自治体の役割―」

9月29日（日）午後1時30分～午後3時30分

定員 30名（申込順）

申込 9月14日（土）より資料館窓口・電話・電子申請で受付

4 見解

お盆やお彼岸など死後の世界を身近にとらえる行事も多いこの時期に、本企画展を通して葬儀の移り変わりや地獄絵等から見る死後の世界、あの世と仏事の関連性などを知っていただけたら幸いです。

5 添付資料

第51回企画展「あの世―葬送儀礼と死生観―」チラシ

R6.8.10.SAT

▶ 9.29.SUN



開館時間：9時～17時(古民家15時45分まで)

休館日：8月13日、19日、26日
9月2日、9日、17日、24日

入館料：無料

― 葬送儀礼と死生観 ―

あの世

AFTERLIFE
FUNERAL
LIFE
&
DEATH

八潮市立資料館 第51回企画展



いつかは誰もが終わりを迎え
 “あの世”へ旅立ちます
 いつの時代も人びとは死後の世界を想像し
 それは現世での生き方や
 死者の弔い方にも
 影響を及ぼしてきました

本企画展では
 人びとが思い描いてきた死後のイメージ
 “あの世”へ送り出す葬送儀礼
 死者を弔う幾多の供養を取り上げ
 その根底にある死生観に迫ります

■展示構成

プロローグ 人の一生

本企画展のテーマである「死」に対して「生」を取り上げ、人生年表に沿って節目に行う儀礼等を見ていきます。

第 1 章 あの世へ送り出す

死者をあの世へ送り出す葬儀は仏教信仰に基づく儀式で、住民の相互協力によって営まれてきました。地縁によって行われていた葬儀の様子や、死者を悼むにとどまらない意味をもっていた「村葬」を紹介します。

第 2 章 思い描くあの世

仏教に基づく「六道輪廻」の思想が広まる中、誰もがより良い世界への生まれ変わりを求めています。描かれた死後の世界から、人びとの死生観を紹介します。

第 3 章 あの世の人を想う

埋葬、四十九日、十王・十三仏信仰、盆行事を主な軸に、この世を生きる人びとの死者との向き合い方、あの世に想いを馳せ行われてきた行事・儀礼等を紹介します。

エピローグ 変化する弔い方

高度経済成長や核家族化など人のつながりのあり方が急速に変化した戦後の葬儀に注目します。



「閻魔天曼荼羅」(観音寺蔵)



「和字絵入往生要集」(当館蔵)



「田中四一氏葬儀」(当館蔵)



「念仏講」(当館蔵)



「盆棚飾り」(当館蔵)



「十三仏掛軸」(清勝院蔵)

■関連イベント

展示解説会(申込不要)

第1回 8月18日(日)14時～15時

第2回 9月14日(土)14時～15時

資料館講座「近代皇室葬儀と八潮

—国家の葬儀と自治体の役割—

9月29日(日)13時30分～15時30分

定員30名 申込受付9月14日(土)～



▲講座申込

■交通案内



■東武スカイツリーライン「草加駅」東口より

バス(八潮駅北口行・八潮団地行・木曾根行)に乗り、「手代橋」バス停下車 徒歩5分

■つくばエクスプレス「八潮駅」北口より

バス(柳の宮経由草加駅東口行)に乗り、「後谷住宅前」バス停下車 徒歩3分

バス(伊草団地経由草加駅東口行)に乗り、「南後谷」バス停下車 徒歩3分

表画:「熊野勤心十界曼荼羅」(清勝院蔵)



▲企画展HP